

GALANTE

INSTRUCTIONS

取扱説明書

5R65・5R66
SPRING DRIVE

セイコーウオッチ株式会社

本社 〒105-8467 東京都港区芝浦1-2-1

SEIKO

目次

■製品の特長	4
■各部の名称	5
■ご使用方法（ぜんまいの巻きかた）	6
■時刻・日付の合わせたかた（24時針がない時計の場合）	9
■時刻・日付合わせ、時差修正使用方法（24時針がついている時計の場合）	15
■パワーリザーブ表示の見かた	30
■ケース構造について	32
■回転ベゼルの使いかた	32
■レザーバンド用三つ折れ方式中留の使いかた	33
■レザーバンド用ワンプッシュ三つ折れ方式中留の使いかた	34
■使用上の注意とお手入れの方法	35
■こんな時には	42
■アフターサービスについて	44
■補修用性能部品について	44
■製品仕様	45

このたびはガラランテをお買い上げいただきありがとうございました。
SEIKOでは、時計づくり100有余年の伝統と世界に誇る先進技術のすべてを注ぎ、製造・検査を実施しております。

ガラランテの優れた性能を保つ為に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、末長くご愛用下さいますようお願い申し上げます。

この取扱説明書はお手もとに保存いただき、必要に応じてご覧ください。

■製品の特長

スプリングドライブとはセイコー独自の機構で、ぜんまいが巻き解ける力を唯一の動力源としながらも、クォーツ時計と同等の高精度を実現した機構です。

ぜんまいを十分に巻き上げた状態から、約72時間（約3日間）動き続けます。ぜんまいの巻き上げ状態がわかるパワーリザーブ表示付きです。秒針は完全に滑らかなスイープ運針で動きます。

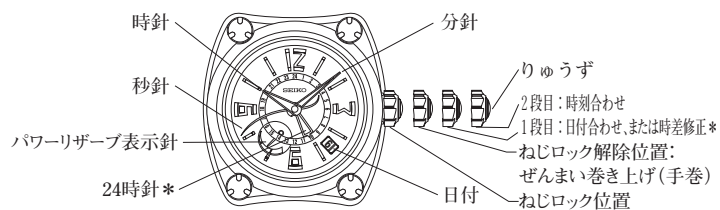
巻き上げ方式は自動巻ですが、手巻機構も併せて備えていますので、始動時の巻き上げに便利です。

さらに、機種により24時針つき（日付連動時差修正機能つき）のものもあります。

△注意

・スプリングドライブはぜんまいの力で動きます。パワーリザーブ表示の残量が無くなる前に十分に巻き上げてご使用ください。
特に低温下（0℃以下）では、パワーリザーブ表示が「1/6」以下になると止まる可能性がありますのでご注意ください。

■各部の名称



*機種により、24時針つき（時差修正機能つき）のものがあり、時刻・日付の合わせかたが異なります。
詳しくは→15ページ
「■時刻・日付合わせ、時差修正使用方法（24時針がついている時計の場合）」を参照してください。

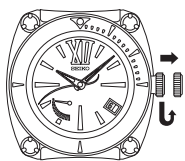
※りゅうずはねじロック方式を採用しています。りゅうず操作をする場合は、ロックを解除してご使用ください。りゅうず操作をしない場合は必ずロック状態にしておいてください。また、ねじ込む際は、ねじのかみあい具合に注意しゆっくりとねじ込んでください。回しにくい場合は元に戻してからやり直してください。無理にねじ込むとねじを壊す恐れがあります。

■ご使用方法（ぜんまいの巻きかた）

この時計は自動巻式（手巻つき）です。

- ・ぜんまいは、腕につけてご使用いただく際には、通常の腕の動きで自然に巻き上がります。
- ・止まっている時計をお使いになる場合には、りゅうずを回してぜんまいを巻き上げることをお勧めします。

●りゅうずでのぜんまいの巻きかた



①りゅうずは、ねじロック仕様になっております。りゅうずを左（6時方向）に回してねじロックを解除してください。（ねじロックが完全に解除されると、りゅうずは締めこんだときの位置よりも少し外側に出ます。）



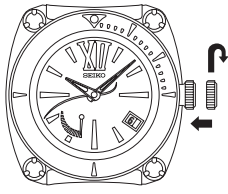
②ねじロックが解除されましたら、りゅうずを押し付けないように注意しながら右（12時方向）にゆっくり回して、ぜんまいを巻いてください。
③パワーリザーブ表示針がフル巻き上げ表示になるまで、ぜんまいを巻いてください。秒針が動きはじめます。

※りゅうずを5回転させると約10時間分のパワーリザーブが得られます。巻き上げ操作時の目安にしてください。

※なお、りゅうずを左（6時方向）に回してもぜんまいは巻き上がりせず、空回りする構造になっています。

※ぜんまいの巻き上がり量については30ページ「■パワーリザーブ表示の見かた」をご参照ください。

※フル巻き上げの状態からさらにりゅうずを回しても、りゅうずは止まらずに回転させることができます。りゅうずを回し続けても時計が壊れることはありませんが、ぜんまいはそれ以上巻き上がりませんので過剰な操作はお控えください。



④りゅうずを押し付けながら右（12時方向）に回し、止まるところまでねじ込んでください。

※りゅうずをねじ込んでいる時に若干のクリック感がありますが、これはぜんまいが巻き上げられる感触が伝わっているものですので問題はありません。

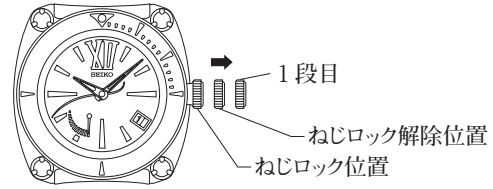
8

■時刻・日付の合わせかた（24時針がついていない時計の場合）

※24時針付きの時計は、15ページ「■時刻・日付合わせ、時差修正使用方法（24時針がついている時計の場合）」をお読みください。

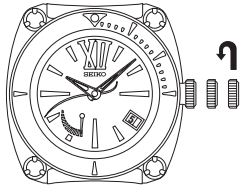
・必ず時計が動いている状態（ぜんまいが巻き上げられた状態）で、日付・時刻の合わせをしてください。

①りゅうずを左（6時方向）に回してねじロックを解除してから、1段目まで引き出してください。（秒針は動き続けています。）



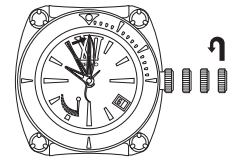
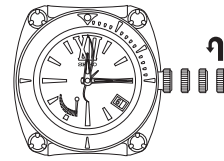
9

②りゅうずを左（6時方向）に回して日付を前日に合わせます。
（例）合わせたい日付が「6日」の場合、「5日」に合わせます。



10

※時計の針が午後9時～午前1時までの間を示しているときは、日付の修正はしないでください。この時間帯に日付を修正しますと、翌日になっても日付が変わらない場合があります。
この場合はりゅうずを2段目まで引き出し、りゅうずを左（6時方向）に回して一旦時刻を午前1時よりも進めてから、りゅうずを再び1段目にして日付を合わせてください。



③秒針が12時（0分）位置にきたら、りゅうずを2段目まで引き出してください。（秒針が止まります。）りゅうずを左（6時方向）に回して、合わせたい日付になるまで時刻を進めてください。

④次に時刻を合わせます。りゅうずを2段目まで引き出した状態のまま、左（6時方向）に回して、合わせたい時刻の手前から分針をゆっくり進めて合わせてください。

※日付は24時間に1回変わるように設定されていますので、午前午後を間違えないように時刻を合わせてください。

※時刻合わせは、電話の時報サービス TEL.117が便利です。

11

⑤時報と同時にりゅうずを押し込んでください。秒針が動き始めます。最後に、りゅうずを押し付けながら右（12時方向）に回し、止まるところまでねじ込んでください。

※りゅうずをねじ込んでいる時に若干のクリック感がありますが、これはぜんまいが巻き上げられる感触が伝わっているものですので問題はありません。

より正確に時刻合わせをするために！

・スプリングドライブ機構の構造上、より正確な時刻合わせをしていただくには、下記の点にご注意ください。

1. 時刻合わせをする場合は、ぜんまいを充分（パワーリザーブ表示がフル巻き上げ）巻き上げてください。
2. 止まっている時計を動かした場合は、ぜんまいを充分巻いて30秒程度秒針が動いてから、りゅうずを2段目に引き出してください。
3. りゅうずを2段目まで引き出して秒針を止めている時間は、「30分以内」にしてください。これ以上の時間引き出していた場合は一旦りゅうずを押し込み、30秒程度は秒針が動いてから、時刻合わせをし直してください。

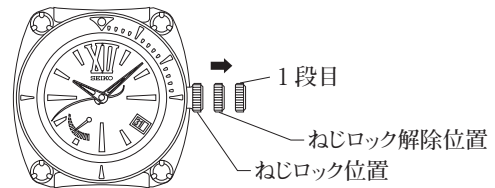
12

◀月末の日付修正について▶

・この時計の日付表示は1日～31日となっています。小の月（2,4,6,9,11月）の場合は、ご自分で日付を合わせ直す必要がありますのでご注意ください。

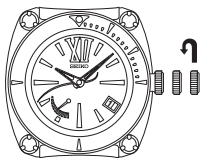
◀例▶ 小の月の翌月「1日」の朝に日付表示を修正する場合

①日付表示は「1」ではなく「31」になっています。りゅうずを左（6時方向）に回してねじロックを解除してから、1段目まで引き出してください。



13

②りゅうずを左（6時方向）に回して日付を「1」に合わせます。



14

※時計の針が午後9時～午前1時までの間を示しているときは、日付の修正はしないでください。この時間帯に日付を修正しますと、翌日になっても日付が変わらない場合があります。

この場合はりゅうずを2段目まで引き出して左（6時方向）に回し、一旦この時間帯以外の時刻にしてから、りゅうずを再び1段目にして日付を合わせてください。

③日付の合わせが終わったらりゅうずを押し込み、さらに押し付けながら右（12時方向）に回して止まるところまでねじ込んでください。

※りゅうずをねじ込んでいる時に若干のクリック感がありますが、これはぜんまいが巻き上げられる感触が伝わっているものですので問題はありません。

■時刻・日付合わせ、時差修正使用方法（24時針がついている時計の場合）

●時刻の合わせかた

・必ず時計が動いている状態（ぜんまいが巻き上げられた状態）で、日付・時刻の合わせをしてください。

・この時計の24時針の使いかたには、2つのタイプがあります。そのタイプによって時刻の合わせかたが異なりますので、どんな使いかたにするのか選択してから時刻合わせをしてください。

◀タイプ1▶ 通常の24時針として使用する場合
（午前・午後が読める）

・普通の使い方がこのタイプになります。
・たとえば、時、分、24時針とも日本時間に合わせた時計を、海外旅行中に旅先の時刻に時差修正で合わせた際、24時針で日本時間を知ることができ便利です。



15

◀タイプ2▶ 24時針に他の地域の時刻を表示させて使用する場合

・住む場所とは、異なる時刻（時差のある時刻）に合わせておき、24時針と時分針とでデュアルタイム表示として使用する場合にこのタイプを選びます。

・たとえば、24時針を世界標準時 (GMT) に合わせ、時分針を日本時間に合わせると、いつでも24時針でGMTを確認できることになります。

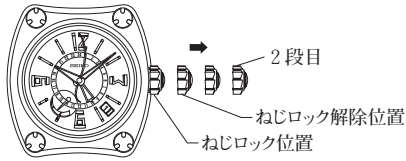


24時針を普通の24時針として合わせる方法〈タイプ1を選択した場合〉

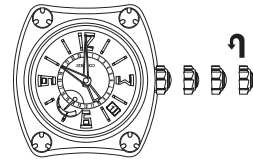
16 ①りゅうずを左(6時方向)に回してねじロックを解除してから、2段目まで引き出してください。

※秒針が止まりますので、秒針が0秒に来た時に引き出してください。

※必ず時計が動いている状態(ぜんまいが巻き上げられた状態)で時刻合わせをしてください。



②りゅうずを左に回し、24時針と分針に注目し現在時刻に合わせます。



17 <例> 午前10時0分に合わせる場合は・・・
24時針を24時の10時 (=5時位置)、分針を0分に合わせます。
午後6時0分に合わせる場合は・・・
24時針を24時の18時 (=9時位置)、分針を0分に合わせます。

※時針が合わせる時刻と異なる時刻を示している場合がありますが、24時針と分針のみを見て合わせてください。(時針は後から合わせます。)

※この時、時針の位置によって日付修正される場合がありますが、これも後で合わせられますのでご安心ください。

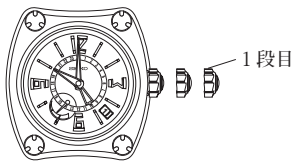
※合わせたい時刻の手前から分針をゆっくり進めて合わせてください。

③時報と同時にりゅうずを押し込んでください。

※24時針、分針、秒針のみ現在時刻に合った状態になっています。

※時刻合わせは、電話の時報サービスTEL.117が便利です。

④りゅうずを1段目まで引き出してください。



⑤りゅうずを回転させ、時針を現在時刻に合わせてください。

※日付を合わせる場合は、ここで一緒に合わせてください。

(詳しくは→22ページ「●日付の合わせかた (24時針つき)」を参照)

※日付が変わるところが午前0時ですので、午前・午後を間違いなく合わせてください。

※りゅうずの回転の際、時針の1時間単位の動きを確認しながら静かに回してください。

※時針を修正している時、その他の針が少し動きますが故障ではありません。

⑥合わせ終わったらりゅうずを押し込んでください。さらに押し付けながら右(12時方向)に回して止まるところまでねじ込んでください。

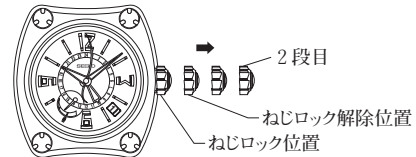
※りゅうずをねじ込んでいる時に若干のクリック感がありますが、これはぜんまいが巻き上げられる感触が伝わっているものですので問題はありません。

24時針を他の地域の時刻として合わせる方法〈タイプ2を選択した場合〉

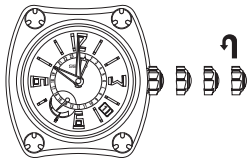
19 ①りゅうずを左(6時方向)に回してねじロックを解除してから、2段目まで引き出してください。

※秒針が止まりますので、秒針が0秒に来た時に引き出してください。

※必ず時計が動いている状態(ぜんまいが巻き上げられた状態)で時刻合わせをしてください。



②りゅうずを左に回し、24時針と分針に注目し合わせたい「他の地域」の時刻に合わせます。



20 <例> 24時針で、ロンドンの時刻を表示し、時分針で日本時間を表示させる場合・・・

日本時間午前10時0分の場合、ロンドンでは、午前1時0分になります。

24時針を24時針の1時(12時と1時の間)、分針を0分に合わせます。

※他の地域として選択できるのは、日本時間からの時差が1時間単位で地域に限られます。

※時針が合わせる時刻と異なる時刻を示している場合がありますが、24時針と分針のみを見て合わせてください。(時針は後から合わせます。)

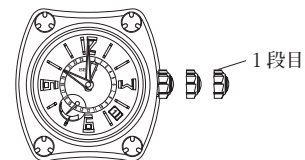
※この時、時針の位置によって日付修正される場合がありますが、これも後で合わせられますのでご安心ください。※合わせたい時刻の手前から分針をゆっくり進めて合わせてください。

③時報と同時にりゅうずを押し込んでください。

※24時針、分針、秒針のみ「他の地域」の時刻に合った状態になっています。

※時刻合わせは、電話の時報サービスTEL.117が便利です。

④りゅうずを1段目まで引き出してください。



⑤りゅうずを回転させ、時針を現在時刻(日本時間)に合わせてください。

※日付を合わせる場合は、ここで一緒に合わせてください。

(詳しくは→22ページ「●日付の合わせかた (24時針つき)」を参照)

※日付が変わるところが午前0時ですので、午前・午後を間違いなく合わせてください。

※りゅうずの回転の際、時針の1時間単位の動きを確認しながら静かに回してください。

※時針を修正している時、その他の針が少し動きますが故障ではありません。

⑥合わせ終わったらりゅうずを押し込んでください。さらに押し付けながら右(12時方向)に回して止まるところまでねじ込んでください。

※りゅうずをねじ込んでいる時に若干のクリック感がありますが、これはぜんまいが巻き上げられる感触が伝わっているものですので問題はありません。

より正確に時刻合わせをするために!

・スプリングドライブ機構の構造上、より正確な時刻合わせをしていただくには、下記の点にご注意ください。

1. 時刻合わせをする場合は、ぜんまいを充分(パワーリザーブ表示がフル巻き上げ)巻き上げてください。
2. 止まっている時計を動かした場合は、ぜんまいを充分巻いて30秒程度秒針が動いてから、りゅうずを2段目に引き出してください。
3. りゅうずを2段目まで引き出して秒針を止めている時間は、「30分以内」にしてください。これ以上の時間引き出していた場合は一旦りゅうずを押し込み、30秒程度は秒針が動いてから、時刻合わせをし直してください。

●日付の合わせかた (24時針つき)

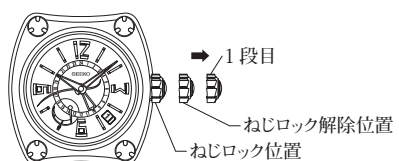
・この時計の日付修正は、時差修正の方法で時針を2周させて1日分の日付修正を行います。(24ページ「●時差修正の使いかた」を参照ください。)

・時針を時計回りに2周させると「日を送る」こととなり、逆回転させると「日を送る」ことができます。

・時刻合わせの後の日付合わせや、前月が小の月(2, 4, 6, 9, 11月)の場合、修正を行ってください。

①りゅうずを左(6時方向)に回してねじロックを解除してから、りゅうずを1段目まで引き出してください。

②りゅうずを回転させ時針を2周させる毎に、日付が「1日分」修正できます。



右回転: 時針は、時計回りと逆方向に回転し、時針を2周させると日付が1日戻ります。
左回転: 時針は、時計回りに回転し、時針を2周させると日付が1日進みます。

※日付はどちらの方法で修正してもかまいません。日付修正が少ない方向を選択してください。

※りゅうずの回転は、静かに行ってください。

※2周単位で時針を回転させると、時刻を変えることなく日付の修正ができます。

※時針を修正している時、その他の針が少し動きますが故障ではありません。

③日付合わせが終わったら、時針の位置を再度確認してりゅうずを押し込んでください。
さらに押し付けながら右(12時方向)に回して止まるところまでねじ込んでください。

※りゅうずをねじ込んでいる時に若干のクリック感がありますが、これはぜんまいが巻き上げられる感覚が伝わっているものですので問題はありません。

24 ●時差修正の使いかた

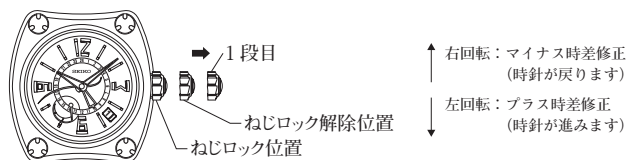
- ・海外旅行等で時差のある地域へ移動した場合、時計を止めることなく現地の時刻に合わせられます。
- ・この修正は、日付に連動していますので、正しい時差修正が行なわれると現地の日付を表示させることができます。

時差修正のしかた

①りゅうずを左(6時方向)に回してねじロックを解除してから、りゅうずを1段階まで引き出してください。

②りゅうずを回転して時差修正を行ってください。時針だけが修正されま

※1時間単位で時針の動きを確認しながらりゅうずを回してください。



※「●都市と時差の比較表」の日本時間との時差を参照してください。

※時差修正をするときは、午前・午後および日付等にご注意ください。

※時針を修正している時、その他の針が少し動きますが、故障ではありません。

※りゅうず右回転で時差修正をしてAM0:00を通過してPM9:00~AM0:00付近に合わせる場合は一旦、PM8:00まで戻し合わせてください。

③時差修正が終わったら、時針の位置を再度確認してりゅうずを押し込んでく

ださい。さらに押し付けながら右(12時方向)に回して止まるところまでねじ込んでください。

※りゅうずをねじ込んでいる時に若干のクリック感がありますが、これはぜんまいが巻き上げられる感覚が伝わっているものですので問題はありません。

●都市と時差の比較表

※都市名・日本時間との時差は以下のとおりです。

都市名	日本時間との時差	その他の都市
ウエリントン★	+3時間	フィジー諸島 オークランド★
ヌメア	+2時間	ソロモン諸島
シドニー★	+1時間	グアム島 ハバロフスク★
東京	±0時間	ソウル 平壤
香港	-1時間	マニラ 北京 シンガポール
バンコク	-2時間	ジャカルタ
ダッカ	-3時間	
カラチ	-4時間	タシケント★
ドバイ	-5時間	
モスクワ★	-6時間	メッカ ナイロビ
カイロ★	-7時間	アテネ★ イスタンブール★

パリ★	-8時間	ローマ★ アムステルダム★
ロンドン★	-9時間	カサブランカ
アゾレス諸島★	-10時間	
リオデジャネイロ★	-12時間	
サンティアゴ★	-13時間	
ニューヨーク★	-14時間	ワシントン★ モントリオール★
シカゴ★	-15時間	メキシコシティ★
デンバー★	-16時間	エドモントン★
ロサンゼルス★	-17時間	サンフランシスコ★
アンカレッジ★	-18時間	
ホノルル	-19時間	
ミッドウエイ島	-20時間	

★…サマータイム有り
※各都市の時差、およびサマータイムは国または地域の都合により変更する場合があります。

■パワーリザーブ表示の見かた

- ・パワーリザーブ表示で、ぜんまいの巻き上げ具合が確認できます。
- ・時計を腕から外して置いておく際には、次にご使用(携帯)されるまで動き続けるかどうかをパワーリザーブ表示でご確認の上、必要に応じてぜんまいを巻き上げてください。(時計を止めないためには、必ず余裕を持った時間分を巻き上げるようにしてください。)

パワーリザーブの表示	ぜんまいの状態	半分程度巻き上がった状態	巻き上げ無しの状態
	フル巻き上げの状態	半分程度巻き上がった状態	巻き上げ無しの状態
持続時間	約72時間(約3日間)動きます。	約36時間(約1日半)動きます。	時計は止まっているか、止まる直前の状態です。

※フル巻き上げ状態でりゅうずをそれ以上回しても、あるいは自動巻き機構による巻き上げが行なわれても、ぜんまいが損傷を受けることはありませんのでご安心してお使いください。この時計のぜんまいは自動巻き機構特有の構造(スリッピングアタッチメント)の働きで、ぜんまいが巻き止まらないようになっております。

※モデルによって、「パワーリザーブの指示」位置が若干異なる場合があります。

●自動巻き機構によるぜんまい巻き上げの目安について

- ・ご使用時間と巻き上げ具合の目安は下記の通りです。実際にはお客様の使用状況(時計を携帯使用される時間や運動量等)によって異なってきますので、パワーリザーブ表示でご確認ください。

1日当たり12時間の携帯で連続して3~5日間ご使用されると、フル巻き上げになると思われます。

※1日のご使用時間が短い場合などは、パワーリザーブ表示をご確認の上、必要に応じてぜんまいを巻き上げてください。

■ケース構造について

・特殊なケース構造になっています。ご使用に際しては下記内容に注意し、安全な使用を心掛けてください。



4箇所にケースの縁部分固定するための柱が立っています。モデルによっては、回転ベゼルの固定になっている場合があります。

32

△注意

- ①この柱を固定しているねじおよび柱の先端にある止めねじは絶対に緩めないでください。故障の原因や紛失の原因になります。※柱の固定や止めねじに異常を発見した場合は、お買い上げ店にご相談ください。
- ②ケースは厚く特殊な形状をしています。携帯時に他のものにぶつかるなどして、思わぬけがをする可能性もありますので、携帯中は十分なご注意が必要です。

■回転ベゼルの使いかた

回転ベゼル付きのモデルは、経過時間を計測できます。

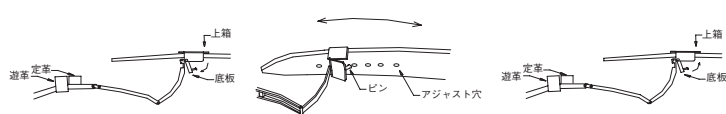


10時10分から計測開始して、15分経過したことを示しています。

●経過時間の測定

回転ベゼルの回して、▽マークを分針に合わせてください。ある時間経過した後分針が指す回転ベゼル上の目盛りを讀めば、その時点までの経過時間が分かります。※回転ベゼルの、時計と逆まわり方向しか回転しませんので、無理に時計と同じ方向に回さないでください。※モデルによっては、回転ベゼル上の「分目盛」がない部分もありますので、ご注意ください。

■レザーバンド用三つ折れ方式中留の使いかた

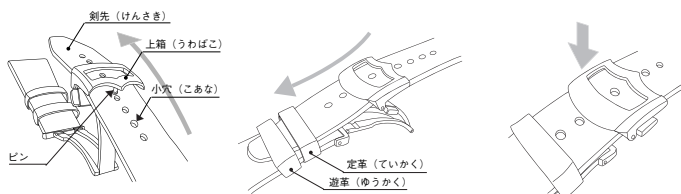


33

- ①上箱の底板を下に開きます。
- ②バンドの剣先（先端）を上箱の中に入れて、適当な長さのところでピンをアジャスト穴に入れます。
- ③底板を閉めます。（底板を押し込みすぎないようにしてください。）

※中留を装着するときは、バンドの剣先（先端）を定・遊革に入れてから、中留をしっかり留めてください。

■レザーバンド用ワンプッシュ三つ折れ方式中留の使いかた



34

- ①上箱を持ち上げて、バンドの剣先（12時側先端）を上箱の中に通します。適当な長さのところでピンを小穴に入れて、バンドを固定します。
- ②剣先を、定革と遊革に通します。
- ③上箱をカチッと音がするまで押して、しっかりと留めます。

※装着するときは、バンドの剣先（12時側先端）を定革・遊革に入れた後で、中留を留めてください。

■使用上の注意とお手入れの方法

△注意

日常のお手入れ

- ・ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくと皮膚の袖口を汚したり、かぶれの原因になることがありますので常に清潔にご使用ください。
- ・時計を外したときは、柔らかい布などで汗や水分をふき取るだけで汚れや、ケース・バンド及びパッキンの寿命が違ってきます。

＜革バンド＞

- ・革バンドは、柔らかい布などで吸い取るように軽くふいてください。こするようにふくと色が落ちたり、ツヤがなくなったりする場合があります。

＜金属バンド＞

- ・金属バンドは、ときどき柔らかい歯ブラシなどを使い、部分洗いなどのお手入れをお願いします。

35

△注意

かぶれやアレルギーについて

- ・バンドは多少余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用ください。
- ・かぶれやすい体質の人や、体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれをきたすことがあります。
- ・かぶれの原因として考えられるのは、
1. 金属・皮革に対するアレルギー
2. 時計本体及びバンドに発生したさび、汚れ、付着した汗などです。
- ・万一肌などに異常を生じた場合は、ただちに使用を中止し、医師にご相談ください。

36

△注意

防水性能

- ・時計の文字板または裏ぶたにある防水性能表示をご確認の上、ご使用ください。
- ・水分のついたままリウズを回したり、引き出ししたりしないでください。時計内部に水分が入ることがあります。

時計の防水表示 上段：文字板 下段：裏ぶた	使用例 防水の基準	使用例					
		雨や洗濯など日常生活で予想される「水が当たる」程度	水に長時間の浸し、海水浴、温泉、プール（海水・プール）で使用できる程度	潜水（スキューバダイビング）で使用できる程度	空気ボンベを使用しない潜水（スキューバダイビング）に使用できる程度	空気ボンベを使用する潜水（スキューバダイビング）に使用できる程度	ヘリウムガスを使用する潜水方式（飽和潜水）に使用できる程度
表示なし 表示なし WATER RESIST	非防水 日常生活用防水 (3気圧防水)	×	×	×	×	×	
表示なし WATER RESIST WATER RESIST 5 BAR のいずれか	日常生活用強化防水 (5気圧防水)	○	○	×	×	×	
表示なし WATER RESIST 10 BAR のいずれか WATER RESIST 10 BAR	日常生活用強化防水 (10気圧防水)	○	○	○	×	×	
表示なし WATER RESIST 20 BAR のいずれか WATER RESIST 20 BAR	日常生活用強化防水 (20気圧防水)	○	○	○	×	×	

37

△警告

- ・日常生活用防水（3気圧）の時計は水の中に入れてしまうような環境での使用はできません。
- ・日常生活用強化防水（5気圧）の時計は、スキンドайビングを含めて全ての潜水に使用できません。
- ・日常生活用強化防水（10、20気圧）の時計は、飽和潜水／空気潜水には使用できません。

38

その他、携帯上ご注意いただきたいこと

- ・転倒時や他人との接触などにおいて、時計の装着が原因で思わぬケガを負う場合がありますのでご注意ください。
- ・特に乳幼児を抱いたりする場合は、時計に触れることでケガを負ったり、アレルギーによるかぶれをおこしたりする場合がありますので、十分にご注意ください。
- ・落としたりぶつけたりはもちろんのこと、激しいスポーツなどによるショックもお避けください。時計が一時的に遅れたり進んだりします。

39

保管について

- ・「-10℃～+60℃からはずれた温度」下では機能が劣化したり、停止したりする場合があります。
- ・磁気の影響（テレビ、スピーカ、磁気ネックレス等）があるとところに放置しないでください。
- ・強い振動のあるところに放置しないでください。
- ・極端にほこりの多いところに放置しないでください。
- ・薬品の蒸気が発散しているところや薬品にふれるところに放置しないでください。
（薬品の例：ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、およびそれらを含有するもの＝ガソリン、マニキュア、化粧品などのスプレー液、クリーナー剤、トイレ用洗剤、接着剤など＝水銀、ヨウ素系消毒液など）
- ・温泉や、防虫剤の入った引き出しなど特殊な環境に放置しないでください。

機種5R65、5R66の点検及び定期点検について

- ・機種5R65、5R66の点検及び分解掃除はメーカーにて行ないますので、販売店にはメーカーへ依頼するようお申しつけください。
- ・ながくご愛用いただくために、3～4年に一度程度の分解掃除による点検調整（オーバーホール）をおすすめします。
ご使用状況によっては、機械の保油状態が損なわれたり、油の汚れなどによって部品が磨耗し、時計の進み、遅れが大きくなる場合があります。また、パッキン等の部品の劣化が進み、汗や水分の侵入などを防水性能が損なわれる場合があります。分解掃除による点検調整を、お買い上げ店にご依頼ください。
- ・部品交換の時は、「純正部品」とご指定ください。
- ・定期点検の際には、パッキンやばね棒の交換もあわせてご依頼ください。

■こんな時には

現象	考えられる原因	このようにしてください
時計が止まっている。	ぜんまいのエネルギーが無くなった。	「●ぜんまいの巻きかた」に従ってぜんまいを巻き上げ、時刻を合わせ直してご使用ください。 携帯中や時計を外す際は、パワーリザーブ表示の針を確認し、必要に応じてぜんまいを巻いてください。
毎日使用しているが、パワーリザーブ表示が上がらない。	携帯時間が少ないか、あるいは腕の動きが少ない。	携帯使用する時間を長くしていただくか、時計を外す際のパワーリザーブ表示の残量が次にご使用されるまでの時間分に足りない場合は、りゅうずを回してぜんまいを巻き上げてください。
時計が一時的に進む／遅れる。	暑いところ、または、寒いところへ放置した。	常温に戻れば元の精度に戻ります。時刻を合わせ直してください。この時計は気温5℃～35℃で腕につけたときに安定した時間精度が得られるように調整してあります。
	磁気を発生するものをそばに置いた。	磁気を遠ざけると、元の精度に戻ります。時刻を合わせ直してください。 元に戻らない場合には、お買い上げ店にご相談ください。
	落としたり強くぶつけたりまたは激しいスポーツをした。 強い振動が加えられた。	時刻を合わせ直してください。 元に戻らない場合には、お買い上げ店にご相談ください。
ガラスのくもりが消えない。	パッキンの劣化などにより時計内部に水分が入った。	お買い上げ店にご相談ください。
パワーリザーブ表示の残量があるのに時計が止まった。	低温下（0℃以下）に放置した。	低温下（0℃以下）では、パワーリザーブ表示が「1/6」以下のときは時計が止まる場合があります。 りゅうずを回してぜんまいを巻いてください。
止まっている時計を動かした直後、時刻合わせをしたら、秒針の運針が早く見えた。	動き出す際、调速機構が働くまではやや時間がかかります。 （故障ではありません）	调速機構が働くまでに数秒間かかります。より正確に時刻を合わせるには、30秒程度秒針が動いてから時刻合わせをしてください。
日付が、日中に変わる	時刻合わせが12時間ずれている	12時間、針を進めて時刻および日付を合わせ直してください。 ※その他の現象は、お買い上げ店にご相談ください。

■アフターサービスについて

- ・お買い求めいただきましたガランテは厳重な検査、調整を行った後、お手元にお届けしております。しかし、取扱説明書にそった正常なご使用状態で保証期間内に万一、不具合が生じた場合には保証書をそえて、お買い上げ店へお持ちください。メーカーにて無料で修理、調整させていただきます。保証内容は、保証書に記載してあります。
- ・保証期間経過後の修理及びガランテについてのご相談は、お買い上げ店でうけたまわっております。なお、ご不明な点は90ページの「セイコーウオッチ株式会社 お客様相談室」へお問い合わせください。

■補修用性能部品について

- ・ガランテの補修用性能部品の保有期間は通常10年間を基準としています。正常なご使用であれば、この期間中は原則として修理可能です。（補修用性能部品とは、時計の機能を維持するのに不可欠な修理用部品です。）
- ・修理可能な期間をご使用条件によりいじりく異なり、精度が元通りにならない場合もありますので、修理ご依頼の際にお買い上げ店とよくご相談ください。
- ・修理のとき、ケース・文字板・針・ガラス・バンドなどは一部代替品を使用させていただきます。
- ・その他、わからない点がありましたら、「セイコーウオッチ株式会社 お客様相談室」へお問い合わせください。

■製品仕様

1. 基本機能・・・3針（時・分・秒）、24時針（機種による）、日付表示、パワーリザーブ表示
2. 水晶振動数・・・32,768Hz
3. 精度・・・平均月差±15秒以内（日差±1秒相当）（ただし、気温5℃～35℃において腕につけた場合）
4. 作動温度範囲・・・-10℃～+60℃
ただし、低温下（0℃以下）ではパワーリザーブ表示が1/6以上で使用のこと
5. 駆動方式・・・ぜんまい巻き（自動巻（手巻き））
6. 運針方式・・・スイープ運針
7. 付加機能・・・日付連動時差修正機能（24時針付き時計のみ）
8. 持続時間・・・約72時間（約3日間）
※パワーリザーブ表示がフル巻き上げの状態から
9. 電子回路・・・発振・分周・スプリングドライブ制御回路（C-MOS-IC）：1個
10. 使用石数・・・30石

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

You are now the proud owner of a GALANTE watch. GALANTE watches are designed and manufactured to operate with extremely high accuracy by taking advantage of SEIKO's more than 100 years of experience in watchmaking and the advanced technology that SEIKO can boast to the world.

46 To preserve the highest quality of your GALANTE watch, please read the instructions in this booklet carefully for its proper use and care, and keep this booklet for ready reference.

CONTENTS

■ FEATURES	48
■ NAMES OF THE PARTS	49
■ HOW TO USE (How to wind the mainspring)	50
■ HOW TO SET THE TIME AND DATE (A model without a 24-hour hand)	53
■ HOW TO SET THE TIME AND DATE, HOW TO USE THE TIME DIFFERENCE ADJUSTMENT FUNCTION (A model with a 24-hour hand)	59
■ HOW TO READ THE POWER RESERVE INDICATOR	74
■ STRUCTURE OF THE CASE	76
■ HOW TO USE THE ROTATING BEZEL	76
■ HOW TO USE THE THREE-PIECE FOLDOVER CLASP FOR A LEATHER BAND	77
■ TO PRESERVE THE QUALITY OF YOUR WATCH	79
■ PLACES TO KEEP YOUR WATCH	84
■ TROUBLE SHOOTING	86
■ REMARKS ON AFTER-SALES SERVICING	87
■ REMARKS ON REPLACEMENT PARTS	87
■ SPECIFICATIONS	89

■ FEATURES

Spring Drive, the unique mechanism made available only by SEIKO technology, ensures quartz accuracy while using the mainspring as its sole power source.

The watch will work continuously for approximately 72 hours (three days) when the mainspring is fully wound.

The watch features a power reserve indicator to show the winding state of the mainspring.

The sweep second hand works in a perfectly smooth movement.

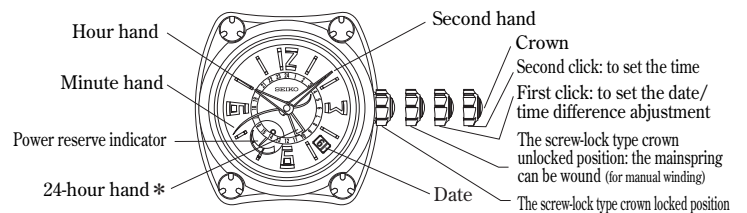
48 This is a self-winding watch equipped with a manual winding mechanism. When first using the watch, manual winding is convenient.

Some models have a 24-hour hand with the added feature of a time difference adjustment function interrelated with the date display.

⚠ CAUTION

Spring Drive works by the power provided by the mainspring. Rewind the mainspring before the power reserve indicator shows "0". If the watch is left under low temperatures (especially below 0°C), it may stop if the power reserve indicator is showing less than one-sixth.

■ NAMES OF THE PARTS



*Time setting and date setting methods vary depending on whether it is a model with or without a 24-hour hand (the time difference adjustment function). For details, refer to "■ HOW TO SET THE TIME AND DATE, HOW TO USE THE TIME DIFFERENCE ADJUSTMENT FUNCTION (A model with a 24-hour hand)" on page 59.

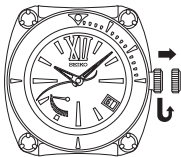
*The crown is a screw lock type crown. To operate the crown, unlock the crown by unscrewing it. Keep the crown locked unless it is necessary to operate the crown. When screwing the crown in, turn it slowly with care, ensuring that the screw is properly engaged. If it is stiff and difficult to work, unscrew it and redo it. Be careful not to forcibly tighten the screw, as doing so may damage the screw.

■ HOW TO USE (How to wind the mainspring)

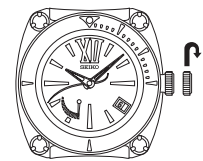
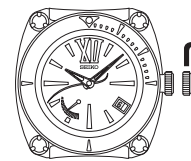
This watch is a self-winding watch equipped with a manual winding mechanism.

- When the watch is worn on the wrist, the motion of the wearer's arm winds the mainspring of the watch.
- When first using a stopped watch, it is recommended that you manually wind the mainspring by turning the crown.

50 ● How to manually wind the mainspring by turning the crown



① The crown is a screw-lock type crown. Turn the crown counterclockwise (the six o'clock direction) to unlock the screw. (When the screw is completely unlocked, it will be projected outward a little from its original position.)



② After unlocking the screw, slowly turn the crown clockwise (the twelve o'clock direction) to wind the mainspring. Take care not to press down the crown.

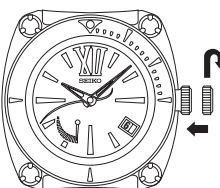
③ Wind the mainspring until the power reserve indicator shows a full-wound state. The second hand starts moving.

*As for manual winding, if you give the crown five 360 degrees rotations, it provides the power to run the watch for approximately ten hours.

*If the crown is turned counterclockwise (the six o'clock direction), the mainspring of the watch will not be wound.

52 *To check the winding state of the mainspring, refer to "■ HOW TO READ THE POWER RESERVE INDICATOR" on page 74.

*There is no need to turn the crown further when the mainspring is fully wound. The crown can be turned without damaging the watch mechanism; it only winds the mainspring free.



④ Gently turn the crown clockwise (the twelve o'clock direction) while pressing it, until it is screwed all the way in and locked.

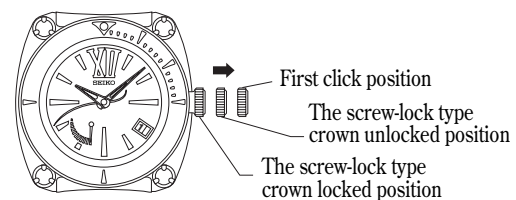
*While screwing the crown in, the watch clicks as the mainspring is wound. This should not cause any concern since this is caused by movement of the mainspring.

■ HOW TO SET THE TIME AND DATE (A model without a 24-hour hand)

53 *For models with a 24-hour hand, refer to "■ HOW TO SET THE TIME AND DATE, HOW TO USE THE TIME DIFFERENCE ADJUSTMENT FUNCTION (A model with a 24-hour hand)" on page 59.

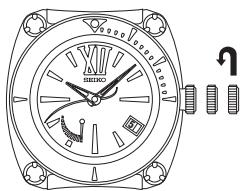
• When setting the date and time, ensure that the watch is working: the mainspring is sufficiently wound.

① Unlock the screw lock type crown by turning it counterclockwise (the 6 o'clock direction), and then pull it out to the first click. (the second hand continues moving.)



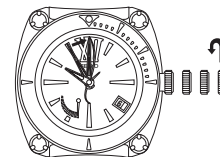
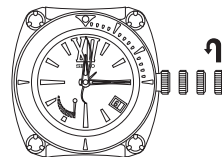
② Turn the crown counterclockwise (the six o'clock direction) to set the date to the previous date.

Example: When you wish to set the date to the sixth, set to the fifth at this point.



54

※ Do not change the date while the watch hands show the time between 9:00 PM and 1:00 AM. If the date is set during this time period, the date may not change properly on the following day. To avoid this, pull out the crown to the second click, and turn it clockwise (the twelve o'clock direction) to temporarily advance the hands to show any time after 1:00 AM. Then push the crown back to the first click to set the date.



③ At the time when the second hand comes to point to 12 o'clock (zero second), pull out the crown to the second click to stop the second hand. Turn the crown counterclockwise (the six o'clock direction) to advance the time until the watch shows the date you wish to set.

④ Move on to the time setting. While keeping the crown at the second click position, turn it counterclockwise (the six o'clock direction) to slowly advance the minute hand to the time you wish to set.

* The date changes once every 24 hours. When setting the time, make sure that AM/PM is properly set.

※ The telephone time signal service (Tel. 117) is convenient to set the time accurately.

55

⑤ Push the crown back in to its original position in accordance with a time signal. Immediately the second hand will start moving. Turn the crown clockwise (the twelve o'clock direction) while pressing it to push it back all the way in.

* While screwing the crown in, the watch clicks as the mainspring is wound. This should not cause any concern since this is caused by movement of the mainspring.

Tips for more accurate time setting

· Take notice of the following points in order to set the time more accurately.

1. Before setting the time, wind the mainspring until the power reserve indicator shows a full-wound state.
2. When using a watch after it has stopped, wind the mainspring sufficiently and wait approximately 30 seconds after the second hand starts moving, and then pull the crown out to the second click and set the time.
3. Do not stop the second hand with the crown being at the second click position for 30 minutes or longer. If the second hand has been stopped exceeds 30 minutes, push the crown back in to its original position, and let the second hand move for 30 seconds or longer, then restart the time setting.

56

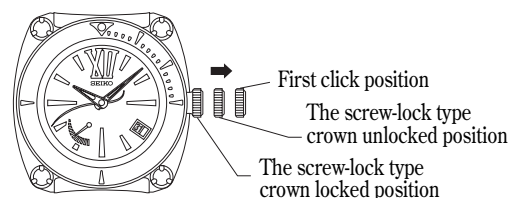
<Date adjustment at the end of the month>

· The date-display is from the 1st to 31st every month, so that manual date adjustment is required at the end of a month that has less than 31 days: February, April, June, September and November.

Example: To set the date on the morning of the 1st day of a month that has less than 31 days

① The date-display will be "31" instead of "1". Turn the crown counterclockwise (the six o'clock direction) to unscrew the crown, and then pull it out to the first click.

57



② Turn the crown counterclockwise (the six o'clock direction) to set the date to "1".



※ Do not change the date while the watch hands show the time between 9:00 PM and 1:00 AM. If the date is set during this time period, the date may not change properly on the following day. To avoid this, pull out the crown to the second click, and turn it counterclockwise (the six o'clock direction) to temporarily set the hands to show any time out of this time period. Then push the crown back to the first click to set the date.

③ After completing the date setting, push the crown back in to the first click position. Then press in the crown while turning it clockwise (the twelve o'clock direction) to push it all the way in.

* While screwing the crown in, the watch clicks as the mainspring is wound. This should not cause any concern since this is caused by movement of the mainspring.

58

HOW TO SET THE TIME AND DATE, HOW TO USE THE TIME DIFFERENCE ADJUSTMENT FUNCTION (A model with a 24-hour hand)

● How to set the time

- When setting the date and time, ensure that the watch is working: the mainspring is sufficiently wound.
- If your watch has a 24-hour hand, it has two different types of 24-hour usage. Since the time setting method differs according to the type of usage, please choose the type before setting the time.

<Type 1>

Simply using the 24-hour hand to show the 24-hour time as an AM/PM indicator.

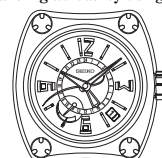
· This is the standard usage type for the 24-hour hand.

· For instance, by setting the hour, minute and 24-hour hands to Japan time, even if you set the hour and minute hands to display the time of the place you are staying while traveling abroad by using the time difference adjustment function, you can easily check the time in Japan with the 24-hour hand which is quite convenient.

<Type 2>

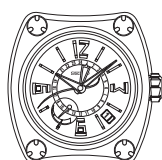
Using the 24-hour hand to indicate the time in a different time zone.

· By setting the 24-hour hand to the time of a place different from where you live (somewhere with time difference), this type uses the 24-hour and hour/minute hands for dual time display.



59

· For instance, by setting the 24-hour hand to GMT while setting the hour and minute hands to indicate Japan time, you can easily check GMT with the 24-hour hand at any time.



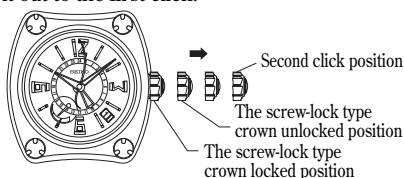
How to set the 24-hour hand as a regular 24-hour indicator <When the type 1 usage is selected>

60

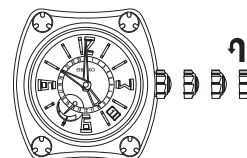
① Unlock the screw lock type crown by turning it counterclockwise (the 6 o'clock direction), and then pull it out to the first click.

※ Pull the crown out when the second hand is at the 12 o'clock position since the second hand will be stopping on the spot.

※ When setting the time, ensure that the watch is working: the mainspring is sufficiently wound.



② Turn the crown counterclockwise to set the 24-hour and minute hands to the current time.



<Example> To set to 10:00 A.M., adjust the 24-hour hand to indicate "10" on the 24-hour scale (5 o'clock position), and the minute hand to the "0" minute position. To set to 6:00 P.M., adjust the 24-hour hand to indicate "18" on the 24-hour scale (9 o'clock position), and the minute hand to the "0" minute position.

※ Only the 24-hour and minute hands are to be set at this stage. The hour hand is to be set later so it is not necessary to adjust the hour hand yet, even if it is indicating the wrong time.

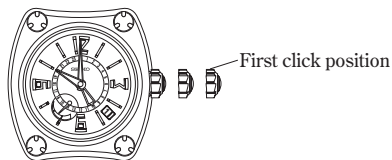
※ The date may be altered depending on the position of the hour hand, however it should not cause any concern since it can also be adjusted later.

※ Turn crown counter clockwise to slowly advance the minute hand to the time you wish to set.

61

- ③ Push the crown back in to its original position in accordance with a time signal.
 ※ Setting of the 24-hour, minute and second hands to the current time is now completed.
 ※ The telephone time signal service (Tel. 117) is convenient to set the time accurately.

- ④ Pull out the crown to the first click.



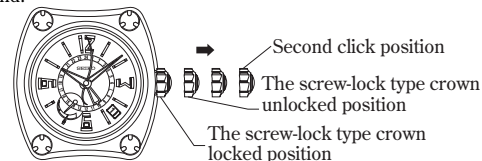
- ⑤ Turn the crown to set the hour hand to the current time.
 ※ Adjust the date also at this point if necessary.
 (Refer to "● How to set the date (A model with a 24-hour hand)" on page 67.)
 ※ The moment the date changes it is midnight. When setting the time, be sure that AM/PM is set correctly.
 ※ Turn the crown slowly, checking that the hour hand moves in one-hour increments.
 ※ When adjusting the hour hand, the other hands may move slightly. However, this is not a malfunction.

62

- ⑥ Push the crown back in upon completion of time setting. Screw the crown in completely by turning it clockwise (12 o'clock direction) while pressing it.
 ※ While screwing the crown in, the watch clicks as the mainspring is wound. This should not cause any concern since this is caused by movement of the mainspring.

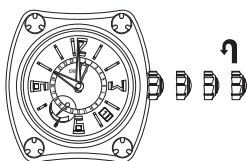
How to set the 24-hour hand as a dual time indicator for a "different time zone area"
 <When the type 2 usage is selected>

- ① Unlock the screw lock type crown by turning it counterclockwise (the 6 o'clock direction), and then pull it out to the first click.
 ※ Pull the crown out when the second hand is at the 12 o'clock position since the second hand will be stopping on the spot.
 ※ When setting the time, ensure that the watch is working: the mainspring is sufficiently wound.



63

- ② Turn the crown counterclockwise to set the 24-hour and minute hands to the current time of your desired time zone area.



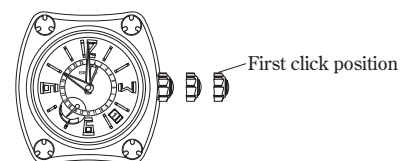
<Example>

- To set the 24-hour hand to the time in London while setting the hour/minute hands to indicate Japan time.
 When the time in Japan is 10:00 A.M., it is 1:00 A.M. in London.
 Set the 24-hour hand to indicate "1" on the 24-hour scale (between the 12 o'clock and 1 o'clock position), while the minute hand is at the "0" minute position.
 ※ The time difference adjustment function serves only for a time in a "different time zone area" where the time difference from Japan time is represented in one-hour increments.
 ※ Only the 24-hour and minute hands are to be set at this stage. The hour hand is to be set later so it is not necessary to adjust the hour hand yet, even if it is indicating the wrong time.
 ※ The date may be altered depending on the position of the hour hand, however it should not cause any concern since it can also be adjusted later.

64

- ③ Push the crown back in to its original position in accordance with a time signal.
 ※ Setting of the 24-hour, minute and second hands to a time in a "different time zone area" is now completed.
 ※ The telephone time signal service (Tel. 117) is convenient to set the time accurately.

- ④ Pull out the crown to the first click.



65

- ⑤ Turn the crown to set the hour hand to the current time.
 ※ Adjust the date also at this point if necessary.
 (Refer to "● How to set the date (A model with a 24-hour hand)" on page 67.)
 ※ The moment the date changes it is midnight. When setting the time, be sure that AM/PM is set correctly.
 ※ Turn the crown slowly, checking that the hour hand moves in one-hour increments.
 ※ When adjusting the hour hand, the other hands may move slightly. However, this is not a malfunction.

- ⑥ Push the crown back in upon completion of time setting. Screw the crown in completely by turning it clockwise (12 o'clock direction) while pressing it.
 ※ While screwing the crown in, the watch clicks as the mainspring is wound. This should not cause any concern since this is caused by movement of the mainspring.

Tips for more accurate time setting

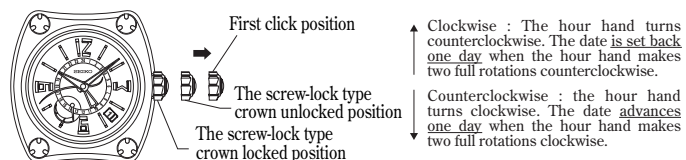
- Take notice of the following points in order to set the time more accurately.
- 1. Before setting the time, wind the mainspring until the power reserve indicator shows a full-wound state.
- 2. When using a watch after it has stopped, wind the mainspring sufficiently and wait approximately 30 seconds after the second hand starts moving, and then pull the crown out to the second click and set the time.
- 3. Do not stop the second hand with the crown being at the second click position for 30 minutes or longer. If the second hand has been stopped exceeds 30 minutes, push the crown back in to its original position, and let the second hand move for 30 seconds or longer, then restart the time setting.

66

● How to set the date (A model with a 24-hour hand)

- This watch is designed so that the date changes one day by turning the hour hand two full rotations in the same way as "the time difference adjustment function". (Refer to "● How to adjust the time difference" on page 68.)
- The date advances one day by turning the hour hand two full rotations clockwise, while the date is set back one day by turning the hour hand two full rotations counterclockwise.
- Set the date after setting the time. Manual date adjustment is required at the end of a month that has less than 31 days: February, April, June, September and November.

- ① Unlock the screw lock type crown by turning it counterclockwise (the 6 o'clock direction), and then pull it out to the first click.
 ② Each time the hour hand makes two full rotations by turning the crown, the date is adjusted one day.



67

- ※ The date can be adjusted either by advancing it or by setting it back. Turn the hour hand clockwise or counterclockwise by whichever is convenient.
- ※ Turn the crown gently.
- ※ To adjust the date without changing the time, turn the hour hand in two-full-rotation increments.
- ※ When adjusting the hour hand, the other hands may move slightly. However, this is not a malfunction.

- ③ After completing the date setting, check the position of the hour hand once again and push the crown back in.
 Screw the crown in completely by turning it clockwise (12 o'clock direction) while pressing it.

68

- ※ While screwing the crown in, the watch clicks as the mainspring is wound. This should not cause any concern since this is caused by movement of the mainspring.

● How to adjust the time difference

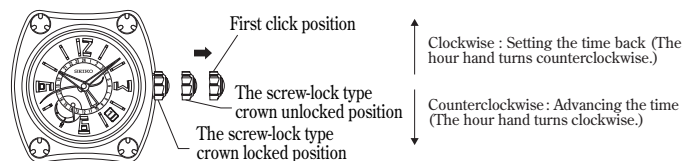
- For example, while traveling abroad and staying in a place with a different time from where you live, you can conveniently set the watch to indicate the local time in the different time zone area without stopping the watch.

- The time difference adjustment is interrelated with the date display. If the time difference is correctly adjusted, the watch displays the correct date of the place where you are staying.

How to adjust the time difference

- ① Unlock the screw lock type crown by turning it counterclockwise (the 6 o'clock direction), and then pull it out to the first click.
 ② Turn the crown to set the hour hand to indicate the time of the place where you are staying.
 The hour hand is independently set to the time in a different time zone.
 ※ Turn the crown slowly, checking that the hour hand moves in one-hour increments.

69



- ※Refer to "●Major cities in the world and time difference table" for time differences from Japan time.
- ※When adjusting the time difference, make sure that AM/PM and the date are correctly set.
- ※When turning the crown clockwise to set the hour hand to indicate any time between 9:00 P.M. and 0:00 A.M. advancing past midnight, temporarily set the hour hand back to 8:00 P.M., and then advance it to the desired time.
- ※When adjusting the hour hand, the other hands may move slightly. However, this is not a malfunction.

70

- ③After completing the time difference adjustment, check the position of the hour once again and push the crown back in. Then, screw the crown in completely until it stops by turning it clockwise (12 o'clock direction) while pressing it.
- ※While screwing the crown in, the watch clicks as the mainspring is wound. This should not cause any concern since this is caused by movement of the mainspring.

71

●Major cities in the world and time difference table

※Refer to the table below for time differences from Japan time in major cities in the world.

Names of the cities	Time difference with Japan Time	Other cities
Wellington★	+3 hours	Fiji islands, Auckland★
Nouméa	+2 hours	Solomon Islands
Sydney★	+1 hours	Guam, Khabarovsk★
Tokyo	±0 hours	Seoul, Pingyang
Hong Kong	-1 hours	Manila, Beijing, Singapore
Bangkok	-2 hours	Jakarta
Dacca	-3 hours	
Karachi	-4 hours	Tashkend★
Dubai	-5 hours	
Moscow★	-6 hours	Mecca, Nairobi
Cairo★	-7 hours	Athens★, Istanbul★

72

Paris★	-8 hours	Rome★, Amsterdam★
London★	-9 hours	Casablanca
Azores★	-10 hours	
Rio de Janeiro★	-12 hours	
Santiago★	-13 hours	
New York★	-14 hours	Washington★, Montreal★
Chicago★	-15 hours	Mexico City★
Denver★	-16 hours	Edmonton★
Los Angeles★	-17 hours	San Francisco★
Anchorage★	-18 hours	
Honolulu	-19 hours	
Midway Islands	-20 hours	

73

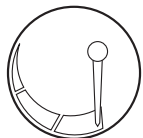

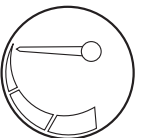
Cities marked with "★" use daylight saving time.

※The time differences and use of daylight saving time in each city are subject to change according to the governments of the respective countries or regions.

■HOW TO READ THE POWER RESERVE INDICATOR

- The power reserve indicator lets you know the winding state of the mainspring.
- Before removing the watch from your wrist, observe the power reserve indicator to check if the watch has stored enough power to keep running until the next time you wear it. If necessary, wind the mainspring. (To prevent the watch from stopping, wind the mainspring to store the excess power that will allow the watch to run for extra time.)

74

The Power Reserve Indicator			
The winding state of the mainspring	Fully wound	Half wound	Unwound
The number of hours the watch can run	Approximately 72 hours (3 days)	Approximately 36 hours (1 day and a half)	The watch either stops or is running down.

※When the mainspring is fully wound, the crown can be turned further, or the mainspring may wind without damaging the mainspring itself. The mainspring of the watch employs a slipping attachment structure, a self-winding watch specific mechanism, to prevent the mainspring from over winding.

※The orientation of "the power reserve indicator" may slightly vary depending on the model.

●Remarks on the self-winding mechanism of the mainspring

- The correlation between the number of hours the watch is worn and the winding state of the mainspring is provided below for your reference. However, the winding state of the mainspring may vary depending on actual use conditions, such as the number of hours you wear the watch or the extent of your movement while wearing it. It is recommended that you observe the power reserve indicator to check the level of remaining power of your watch.

75

The mainspring of the watch becomes fully wound when it is worn for twelve hours for three to five days.

※In a case when you wear the watch for a short period of time each day, observe the power reserve indicator to check the level of the remaining power. If necessary, manually wind the mainspring.

■STRUCTURE OF THE CASE

- The case of this watch has a special structure. Take particular note of the following for safe use of the watch.



The four pillar case screws are mounted in order to support the frame of the case. For models with a rotating bezel, the pillar case screws support the rotating bezel.

76

⚠ CAUTION

- ①Never loosen the screws that are used to fix the pillar screws or setscrews that are tightened at the tip of the pillar screws. Doing so may cause damage or result in loosening them.
- ※If the pillar screws become loose or the setscrews are not securely tightened, consult the retailer from whom the watch was purchased.
- ②The case of this watch is thick and has a unique shape. While wearing the watch, be careful not to hit the watch against other objects as this may cause you injuries.

■HOW TO USE THE ROTATING BEZEL

If your watch has a rotating bezel, it can measure elapsed time.

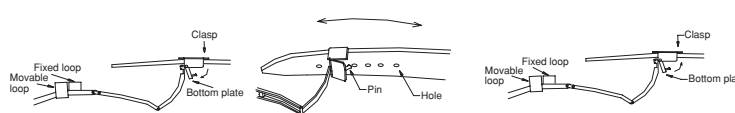


The illustration shows that the watch has measured a 15-minute elapsed time starting from 10:10.

●Elapsed time measurement

- Turn the rotating bezel to set the "15" mark aligning with the minute hand. After a certain time has passed, read the graduation that the minute hand is pointing at to check the length of the time elapsed.
- ※Do not turn the rotating bezel clockwise as the rotating bezel is designed to turn only counterclockwise.
 - ※Some models do not have minute graduations on the rotating bezel.

■HOW TO USE THE THREE-PIECE FOLDOVER CLASP FOR A LEATHER BAND

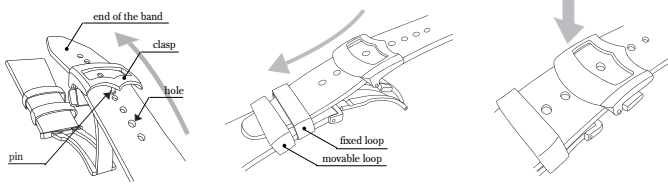


77

- ①Open the bottom plate of the clasp downward.
- ②Place the tip of the band into the clasp, and adjust its length to find an appropriate hole. Hook the pin into the hole.
- ③Close the bottom plate to fasten the clasp. (Do not apply too much pressure to the bottom plate.)

※When fastening the clasp, insert the tip of the band into the movable loop and fixed loop, and securely tighten the clasp.

HOW TO USE THE THREE-PIECE FOLDOVER CLASP FOR A LEATHER BAND



78

- ① Unfasten the clasp, and slide the end of the band (at the 12 o' clock side) into it. Fix the length of the band by placing the pin into an appropriate hole.
- ② Insert the end of the band into both the movable loop and the fixed loop.
- ③ Push the clasp down until it clicks to securely fasten the band.

※ When wearing the watch, make sure that you insert the end of the band (at the 12 o' clock side) into both the movable loop and the fixed loop, and then securely fasten the clasp.

TO PRESERVE THE QUALITY OF YOUR WATCH

CAUTION

CARE OF YOUR WATCH

- The case and bracelet touch the skin directly just as underwear. If they are left dirty, the edge of a sleeve may be stained with rust of those who have a delicate skin may have a rash.
- After removing the watch from your wrist, wipe perspiration or moisture with a soft cloth. This will prevent the watch from being soiled, adding to the life of the gasket.

<LEATHER BAND>

- When removing moisture from a leather band, do not rub the band with the cloth as this may discolor it or reduce its gloss. Be sure to blot up the moisture using a soft dry cloth.

<METAL BRACELET>

- Clean the watch bracelet with a soft toothbrush dipped in water or soapy water.

79

CAUTION

RASH AND ALLERGY

- Adjust the bracelet and band so that there will be a little clearance between the bracelet or band and your wrist to avoid accumulation of perspiration.
- If you are constitutionally predisposed to rash, the band may cause you to develop a rash or an itch depending on your physical condition.
- The possible cause of the rash are as follows:
 1. Allergy to metals or leathers
 2. Rust, dust or perspiration on the watch or band
- If you develop any skin reactions, take off the watch and consult a doctor immediately.

80

CAUTION

WATER RESISTANCE

- Check the dial or case back of your watch for the water resistant quality, and then see the table below.
- Do not turn or pull out the crown when the watch is wet, as water may get inside the watch.

Indication for water resistance a: Indication on the dial b: Indication on the case back	Degree of water resistance	Condition of use					
		Designed and manufactured to withstand accidental contact with water such as splashes and rain.	Suitable for swimming, yachting and other aquatic sports as well as for works closely associated with water such as kitchen work, watering and fishing.	Suitable for shallow diving without a heavy breathing apparatus.	Genuine diving using scuba.	Genuine diving using helium gas.	
a No indication b No indication	No water resistance	×	×	×	×	×	
a No indication b WATER RESIST (3 bar)	Water resistance (3 bar)	○	×	×	×	×	
a No indication b WATER RESIST or WATER RESIST 5 BAR	Water resistance (5 bar)	○	○	×	×	×	
a No indication, or WATER RESIST 10 BAR b WATER RESIST 10 BAR	Water resistance (10 bar)	○	○	○	×	×	
a No indication, or WATER RESIST 20 BAR b WATER RESIST 20 BAR	Water resistance (20 bar)	○	○	○	×	×	

81

WARNING

- If your watch is 3 bar water resistant, do not use it in water.
- If your watch is 5 bar water resistant, do not use it in any type of diving including skin diving.
- If your watch is 10 or 20 bar water resistant, do not use it in saturation diving or scuba diving.

82

PRECAUTIONS ON WEARING YOUR WATCH

- In case you tumble and fall or bump into others with the watch worn on your wrist, you may be injured by the reason of the fact that you wear the watch.
- When you make contact with children, especially with infants, they may get injured or develop a rash caused by allergy.
- Do not drop the watch or hit it against a hard surface and not wear the watch while playing active sports. The watch may gain/lose time.

83

PLACES TO KEEP YOUR WATCH

- If the watch is left in a temperature below -10°C or above $+60^{\circ}\text{C}$ for a long time it may function improperly or stop operating.
- Do not leave the watch in a place where it is subjected to strong magnetism or static electricity.
- Do not leave the watch where there is strong vibration.
- Do not leave the watch in a dusty place.
- Do not expose the watch to gases or chemicals. (Ex.: Organic solvents such as benzene and thinner, gasoline, nail polish, cosmetic spray, detergent, adhesives, mercury, and iodine antiseptic solution.)
- Do not leave the watch in a hot spring, or do not keep it in a drawer having insecticides inside.

84

PERIODIC CHECK

- Checking and overhaul of the watch (cal. 5R65,5R66) will be performed by SEIKO. When you take the watch to the retailer from whom it was purchased, request that the watch will be checked and overhauled by SEIKO.
- We suggest that you have your watch checked by SEIKO every 3 or 4 years for oil condition or damage due to water or sweat. After checking the watch, adjustment and repair may be required.
- When replacing the parts, please specify "SEIKO GENUINE PARTS."
- Be sure to have the gasket and push-pin replaced with new ones when checking the watch.

85

■TROUBLE SHOOTING

Trouble	Possible cause	Solution
The watch stops operating.	The power supplied by the mainspring has been consumed.	Refer to "How to wind the mainspring" to wind the mainspring and reset the time. While you are wearing the watch or when you take it off, check the remaining power shown by the power reserve indicator and wind the mainspring if necessary.
Even though you wear the watch every day, the power reserve indicator does not move up.	The watch is worn on your wrist only for a short period of time, or the amount of arm movement is small.	Wear the watch for an extended period of time, or when taking off the watch, turn the crown to wind the mainspring if the remaining power shown by the power reserve indicator is not sufficient for the next use.
The watch temporarily gains or loses time	The watch has been left or worn in extremely high or low temperatures.	Return the watch to a normal temperature so that it works accurately as usual, and then reset the time. The watch has been adjusted so that it works accurately when it is worn on your wrist under a normal temperature range between 5°C and 35°C.
	The watch is left close to an object with a strong magnetic field.	Prevent the watch from making close contact with magnetic objects so that the watch works accurately as usual, and then reset the time. If the watch does not work accurately again after the above procedure, contact the retailer from whom the watch was purchased.
	You drop the watch, hit it against a hard surface, or wear it while playing active sports. The watch is exposed to strong vibrations.	Reset the time. If the watch does not work accurately as usual after resetting the time, contact the retailer from whom the watch was purchased.
The inner surface of the glass is clouded.	Moisture has entered the watch because the gasket has deteriorated.	Contact the retailer from whom the watch was purchased.
The watch stops even though the power reserve indicator is not showing "0".	The watch has been left under a temperature below 0°C.	If the watch is left under a temperature below 0°C, it may stop if the power reserve indicator is showing less than one-sixth. In such a case, turn the crown to wind the mainspring.
Right after starting the watch, it seems that the second hand moves quicker than usual when setting the time.	When starting the watch, it takes a little time before the adjustment function starts working (this is not a malfunction).	It takes several seconds before the adjustment function starts working. Set the time after the second hand moves for approximately 30 seconds to set the time correctly.

※Contact the retailer from whom the watch was purchased for any other troubles.

■REMARKS ON AFTER-SALES SERVICING

- Your GALANTE watch was strictly checked and completely adjusted at the factory to ensure its high accuracy. However, if your watch gets out of order with the correct way of use as described in this instruction booklet within the guarantee period, take your watch to the dealer from whom your watch was purchased together with the certificate of guarantee. Repair and adjustment will be made without charge.
- For repair after the guarantee period or for any other information regarding the watch, contact the retailer from whom your watch was purchased or the "CUSTOMER SERVICE DEPARTMENT" of SEIKO WATCH CORPORATION.

■REMARKS ON REPLACEMENT PARTS

- SEIKO makes it policy to usually keep a stock of spare parts for GALANTE watches for 10 years. In principle, your watch can be reconditioned within this period if used normally. (Replacement parts are those which are essential to maintaining the functional integrity of the watch.)
- The number of years that a watch is considered repairable may vary greatly depending on the conditions under which it was used, and normal accuracy may not be achieved in some cases. We recommend, therefore, that you consult the retailer from whom the watch was purchased when having them repair your watch.
- The case, dial, hands, glass and bracelet, or parts thereof may be replaced with substitutes if the originals are not available.

■SPECIFICATIONS

- 1.Features:···3 hands (Hour, Minute and Second hands), 24-hour hand (available on some models only) Power Reserve Indicator and Date
 - 2.Frequency of crystal oscillator:···32,768 Hz
 - 3.Loss/gain (monthly average):···Within ± 15 seconds (equivalent to ± 1 second per day) (worn on your wrist at a normal temperature range between 5°C and 35°C)
 - 4.Operational temperature range: ···-10°C ~ +60°C
Under a low-temperature condition (below 0°C), always keep at least one-sixth of the watch power shown by the power reserve indicator.
 - 5.Driving System:···Spring Drive (Self-winding type with manual winding function)
 - 6.Hand movement:···Sweep second hand
 - 7.Optional function:···Time difference adjustment function interrelated with the date display (available on models with 24-hour hand only)
 - 8.Duration:···Approx. 72 hours (Approx. 3 days) *If the power reserve indicator shows the power supplied by the mainspring is full before starting the watch.
 - 9.IC (Integrated Circuit):···Oscillator, frequency divider, and spring drive control circuit (C-MOS-IC): 1 piece
 - 10.Jewels:···30 jewels
- ※The specifications are subject to change without prior notice due to product

ガラランテ専用フリーダイヤル

0 1 2 0 - 3 0 2 - 6 1 7

受付時間：月曜～金曜 9：30～21：00

土曜・日曜・祝日 9：30～17：30

お客様相談室

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-1-1 国際ビル

〒550-0013 大阪市西区新町 1-4-24 大阪四ツ橋新町ビルディング

セイコーウォッチ株式会社

本社 東京都港区芝浦一丁目2番1号 〒105-8467
http://www.seiko-watch.co.jp